

メスリ山古墳(桜井市)

正面がメスリ山古墳/前方後円墳/4世紀初頭の築造/3段築成で墳丘斜面には葺石が敷かれていた/左奥が前方部、右手前が後円部/南東側から見たところ



近づいて後円部を見たところ



案内標識があった





史街道
REKISHI KAIDO

桜井駅 約1.7 km



メスリ山古墳
Mesun-yama Burial Mound

矢印の方向に進むと草叢に隠れて説明板があった



我が国最大の円筒埴輪の出土で知られる/周濠を持たない/後円部に比べ前方部がきわめて低いと云う

メスリ山古墳

この古墳は、阿部丘陵の南端に構築された西向きで二段築成の前方後円墳である。墳丘は全長約二三〇呎、後円部径約一二〇呎、同高約二一呎、前方部幅約八〇呎、同高約九呎の規模で、後円部に比べ前方部がきわめて低い。周濠は存在せず、前方部前面に約四五呎幅の切り通しがある。昭和三四、三五年に後円部が発掘調査され、墳丘上では人頭大の葺石や、墳丘を三段にめぐり、前方部に向って二列にのびる円筒埴輪列が確認されている。また後円部頂には、径一呎の大型円筒埴輪を含み矩形にめぐる埴輪列が検出され、この方形区画内に墳丘の主軸に直交して竪穴式石室が存在する。さらに石室上方の外周には、約一呎の高さに塊石を石垣状に築き、内側を低くした方形区画が形成されている。石室内は乱掘されていたが、鏡、石釧、車輪石、鍬形石、玉類、椅子形石製品、鉄剣、直刀などの副葬品が遺存していた。また、この石室の東側に並んで小竪穴式石室があり、多数の銅鏃、鉄製弓矢、石製鏃、玉杖、工具類が出土した。

この古墳は古墳時代前期の四世紀のもので、同じ桜井市域の箸墓古墳、桜井茶白山古墳などの全長二〇〇呎級の大型前方後円墳と一系列をなすものと位置づけられる。これらの古墳は、全国各地の同時期の古墳のなかでは最大級のものであり、各地の政治集団の連合の頂点にたつ首長墓と考えられている。

奈良県教育委員会

さて、南側に回ると鳥居があった



八坂神社とある



階段を登ると社殿が見えて来る



墳丘の中段の辺りを削平して社殿が建てられているようだ



この建物は拝殿



前方の階段の上に本殿がある



これが本殿



社殿右手から背後の山を登る/凄いブッシュだ



ここが後円部の墳頂/中央の辺りに竪穴式の主石室があり、右手前の窪んだ所には未盗掘の副石室があった



この窪んだ所が副石室で、天井石が現われている



こんな塩梅



反対側から見たところ



これは前方部方向(西方向)を見たところで、木々が密集していて前方部へは進めなかった



参考ホームページ

<https://sakurai-kankou.jimdo.com/%E5%90%8D%E6%89%80/%E5%A4%9A%E6%AD%A6%E5%B3%AF%E8%A1%97%E9%81%93%E5%91%A8%E8%BE%BA/%E3%83%A1%E3%82%B9%E3%83%AA%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3/>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2016/03/27/100000>

<https://narayado.info/nara/mesuriyama.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%B9%E3%83%AA%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3>



地図データ ©2018 Google、ZENRIN アメリカ合衆国 利用規約 フィードバックの送信 1 マイル